

使用上の注意 [必ずお読みください]

電源を投入しますと装置本体が若干発熱します。通常の使用で人体に影響を与えたり、装置本体が発火することはありません。以下の点に注意してご利用ください。

- 同梱の電源アダプタを使用してください。(PSE認定品を同梱しています)
- 必ずAC100V電源に接続してください。
- FOポートを直視しないでください。直視すると失明の危険性があります。
- 装置本体を重ね置いて設置しないでください。
- 装置本体に加工を施さないでください。(保証対象外になります)
- 収容箱に収める場合、通気孔を具備した収容箱を使用してください。
- 防塵対策をご考慮ください。(過度のホコリは装置故障の原因になります)

お使いになる前に [同梱物の確認]

同梱には、製品と重要な書類が同梱されていますので最初に確認してください。

- 装置本体
 - 電源アダプタ(DC +12V出力タイプ : PSE認定取得品)
 - 電源アダプタDCコード固定用クランプ
 - ユーザーズ・ガイド
 - 製品保証書 (Warranty Card)
- ※大切に保管してください。(再発行不可)

TMC-102シリーズの製品共通仕様

表1. TMC-102シリーズの製品共通仕様

準拠規格と転送方式	IEEE802.3, IEEE802.3u スタア・アンド・フォワード方式 スマートモード(カットスルー)方式	電源環境	電源アダプタ方式 (定格: AC100V - 240V入力 / DC+12V出力) 動作電源範囲: AC 90 ~ 264 V / 45 - 66 Hz
インタフェース	TP/LANポート 10/100BASE-TX × 1ポート FOポート 100BASE-FX × 1ポート	装置本体の消費電力	2W以下@DC+12V入力時
TP/LANポート	適合コネクタ RJ-45モジュラコネクタ 10BASE-T/100BASE-TX オートネゴシエーション 全二重、半二重通信方式 (デュプスイッチで固定設定に変更可) MDI/MDI-X オートクロスオーバー 適合ケーブル AWG24 STP/UTP Cat.5以上 (~100m)	性能保証温度	-20℃ ~ 60℃ (結露無き事) ※同梱の電源アダプタを含む
FOポート	適合コネクタ SCコネクタ・JIS C5973 F04型 (PC研磨) 適合光ファイバ 石英系光ファイバ 光ファイバ12芯対応 伝送距離各種 (GIタイプマルチモード光ファイバ、シングルモード光ファイバ) 光ファイバ1芯対応 伝送距離各種 (1310nm帯ゼロ分散シングルモード光ファイバ)	装置本体の外観寸法と取付方法	51(W)×74(D)×19.5(H)mm (突起部を除く) 平置き設置 壁取付け(オプション/別売) DINレール取付け(オプション/別売) マグネットプレート取付け(オプション/別売) サブラック(TMC-CHASSISシリーズ)への収容

Note:

スマートモード(カットスルー方式)時、9Kバイトのジャンボフレームの透過をサポートしています。ポートのリンクダウンを通達するためのリンクアラーム機能をサポートしています。

装置本体の各種部位の説明

装置本体の各種部位を図1、図2、図3に 表示LEDの説明を表2に示します。



図1. TMC-102TRSxシリーズの前面

図2. TMC-102WxSCシリーズの前面

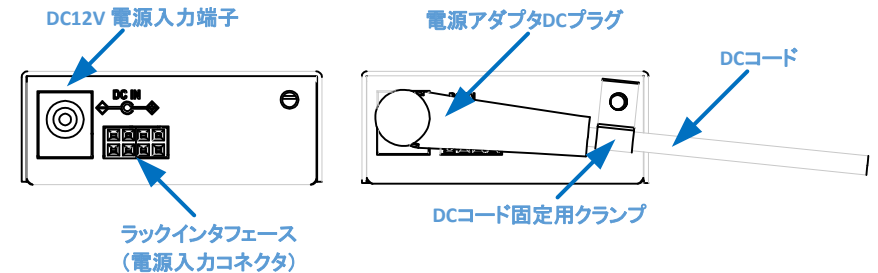


図3. TMC-102シリーズの背面

表2. TMC-102シリーズの表示LED

表示LED	表示LEDの説明
PWR	DC電源が投入されている時に緑色で点灯
FX	FOポートが対向装置と100Mbpsでリンクしている時に緑色で点灯 ※ FOポートでデータのやり取りがある時は緑色で点滅
LINK/ACT	TPポートが対向装置とリンクしている時は緑色で点灯 ※ TPポートでデータのやり取りがある時は緑色で点滅
SPD	TPポートが10Mbpsでリンクしている時は緑色で点灯
	TPポートが100Mbpsでリンクしている時は橙色で点灯

TMC-102シリーズのディップスイッチの設定

TMC-102シリーズのディップスイッチの配置図を図4に、設定説明を表3に示します。

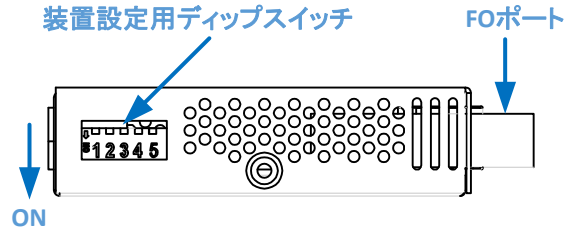


図4. TMC-102シリーズ側面のディップスイッチの配置図

表3. TMC-102シリーズのディップスイッチとTP/LANポートの設定

ピン番号	機能説明	OFF	ON	TPポートの設定	ディップスイッチのピン番号				
					SW1	SW2	SW3	SW5	SW5
1	TPポートオートネゴシエーションの有効無効設定	有効	無効	オートネゴシエーション 常時スタアンドフォワードモード	✓	✓	✓	✓	✓
2	SW1の無効設定時のTPポートの全二重/半二重通信の選択	全二重通信	半二重通信	オートネゴシエーション スマートモードカットスルー	✓	✓	✓	✓	✓
3	SW1の無効設定時のTPポートの伝送速度設定	100Mbps	10Mbps	100Mbps/全二重通信固定設定 常時スタアンドフォワードモード	✓	✓	✓	✓	✓
4	リンクフォルトパススルー機能の有効無効設定	無効	有効	100Mbps/全二重通信固定設定 スマートモードカットスルー	✓	✓	✓	✓	✓
5	データ転送方式の選択	常時スタアンドフォワード	スマートモード	10Mbps/半二重通信固定設定 スマートモードスタアンドフォワードモード	✓	✓	✓	✓	✓

Note:

出荷時、ディップスイッチの設定はすべてOFF側になっています。
ディップスイッチの設定変更は電源のOFF→ONにより有効になります。

TMC-102シリーズの電源アダプタ [DC+12V出力:PSE認定取得品]

Note:

同梱の電源アダプタを使用してください。(PSE認定取得品を同梱しています)
必ずAC100V電源に接続してください。

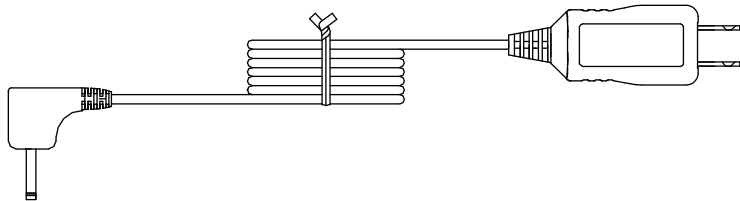


図5. TMC-102シリーズに添付されている電源アダプタ

TMC-102シリーズの製品ラインナップと光学特性

TMC-102シリーズの製品型番一覧と光学特性を表5に示します。

表5. TMC-102シリーズの製品型番一覧と光学特性

製品番号	適合光ファイバ	芯線数	光コネクタタイプ	光波長 (Tx/Rx) (nm)	伝送距離 (目安) (km)	最小送信レベル (dBm)	最大送信レベル (dBm)	最小受光レベル (dBm)	最大受光レベル (dBm)	許容損失 (dB)	
TMC-102TRSC-MM02	石英系GIタイプ マルチモード光ファイバ (OM2)	2芯	SC	1310/1310	~2	-20	-14	-31	0	11	
TMC-102TRST-MM02				1310/1310	~2	-20	-14	-32	-8	12	
TMC-102TRSC-MM02-850				850/850	~2	-10	-4	-24	0	14	
TMC-102TRSC-SM30	石英系1300nm帯 ゼロ分散 シングルモード光ファイバ		1芯	SC	1310/1310	~30	-15	-8	-34	0	19
TMC-102TRSC-SM50					1310/1310	~50	-5	0	-35	0	30
TMC-102TRSC-SM100					1550/1550	~100	-5	0	-35	0	30
TMC-102WASC-SM20		1310/1550			~20	-14	-8	-31	0	17	
TMC-102WASC-SM20		1550/1310			~20	-14	-8	-31	0	17	
TMC-102WASC-SM40		1310/1550		~40	-8	0	-34	0	26		
TMC-102WASC-SM40		1550/1310		~40	-8	0	-34	0	26		
TMC-102WASC-SM60		1310/1550		~60	-5	0	-34	0	29		
TMC-102WASC-SM60		1550/1310		~60	-5	0	-34	0	29		
TMC-102WASC-SM80		1310/1550		~80	0	5	-34	0	32		
TMC-102WASC-SM80	1550/1310	~80	-2	4	-35	0	35				

※ TMC-102シリーズの製品仕様に関する記載内容について予告なく変更になる場合があります。

リンクフォルトパススルー機能 [DIP SW (4=ON)を有効とした場合]

ポートのリンクアップ・ダウンを通達するためのリンクフォルトパススルー機能をサポートしています。装置側面のDIP SWのピン番号4をON側に設定すると有効になります。

表4. リンクアラーム機能の内容説明

ローカルのTP/LANポートがリンクダウンした時	ローカルのFOポートがリンクダウン→リモートのFOポートがリンクダウン⇒リモートのTPポートがリンクダウン
ローカルのFOポートがリンクダウンした時	ローカルのTP/LANポートがリンクダウン→リモートのFOポートがリンクダウン⇒リモートのTPポートがリンクダウン
リモートのTP/LANポートがリンクダウンした時	リモートのFOポートがリンクダウン→ローカルのFOポートがリンクダウン⇒ローカルのTPポートダウン
リモートのFOポートがリンクダウンした時	リモートのTP/LANポートがリンクダウン→ローカルのFOポートがリンクダウン⇒ローカルのTPポートダウン

Note:

リンクフォルトパススルー機能を利用する際、対向装置には同一機種を使用してください。
他社製品との組合せてリンクフォルトパススルー機能を使用する場合、正常に動作しないことがあります。
リンクフォルトパススルー機能を利用する際、対向装置の設定も必ず有効設定にしてください。